

県・市等の内水対策等の取り組み状況と課題

1. 米子市 都市整備部 道路整備課 5
2. 境港市 建設部 管理課 23
3. 松江市 都市整備部 河川課 25
4. 安来市 建設部 土木建設課..... 31
5. 安来市 上下水道部 下水道課 33

県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和7年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
1	米子市 都市整備部 (道路整備課)	1. 計画事業 祇園町地区内水排除計画 2. 計画年次 平成15年度～ 3. 計画箇所 米子市祇園町地区 4. 取り組み概要 高潮と降雨の同時発生により浸水被害が発生しており、平成15年度から平成16年度に貯水槽(鉄筋コンクリート構造)V=107.7m³ 1基及び自動運転排水ポンプ11kw5.0m³/min 1基を鳥取県が設置し、平成23年度より米子市が引き継いでいる。	現在設置されている自動運転排水ポンプのみでは、地区全体の内水排除は十分ではないため、毎年雨季の前に仮設排水ポンプ2基を設置し、併用して対応している。 中海湖心が1.0mを超えた際(令和2年9月3日、4日の高潮)、護岸より漏水が認められたため、補修が必要である。	平成22年度に、鳥取県が設置して市が樋門管理委託を受託している別添図面のうちB-3を除いた樋門について、鳥取県において漏水を防ぎ水密性を高める工事を行った。 平成23年度、道路横断管の設置工事を実施するとともに、仮設排水ポンプを1基を設置した。(B-1) 平成24年度から、ポンプ2基を設置している。(B-1、A-4) 令和3年度から、鳥取県により樋門電動化の工事が行われている。(工事済B-1、B-2、B-5、A-4、A-5) 令和4年度(工事済A-3、B-4) 令和7年度も、仮設排水ポンプを2基設置。(設置期間:6月～10月)
2	米子市 都市整備部 (道路整備課)	1. 計画事業 準用河川四反田川樋門設置事業 2. 計画年次 平成10年度～ 3. 計画箇所 米子市陰田町地区 4. 取り組み概要 中海の潮位上昇に伴う準用河川四反田川からの逆流防止のため仮設排水ポンプ設置を行った。	内水排除対策に必要な資器材の調達および設置。	平成24年度から、仮設排水ポンプを1基設置している。 令和7年度も、仮設排水ポンプ1基を設置。(設置期間:6月～10月)
3	米子市 都市整備部 (道路整備課)	1. 計画事業 彦名町地区内水排除計画 2. 計画年次 平成28年度～ 3. 計画箇所 米子市彦名町地区 4. 取り組み概要 中海の潮位上昇に伴って樋門を閉めたことによる内水が原因で浸水被害が発生しており、内水排除のため仮設排水ポンプを設置している。	内水排除対策に必要な資器材の調達および設置。	平成28年度から仮設排水ポンプ2基を設置している。 令和3年度に、鳥取県により仮設排水ポンプ①の樋門が補修された。 令和7年度も、仮設排水ポンプ2基を設置。(設置期間:6月～10月) また、仮設ポンプに替わる常設の排水ポンプ設置も今後検討していく。(令和7年度設計委託発注予定)
4	米子市 都市整備部 (道路整備課)	1. 計画事業 旗ヶ崎食品団地内水排除計画 2. 計画年次 令和5年度～ 3. 計画箇所 米子市旗ヶ崎地区 4. 取り組み概要 中海の潮位上昇に伴って樋門を閉めたことによる内水が原因で浸水被害が発生しており内水排除のため、仮設ポンプを設置している。	現在設置されている自動運転排水ポンプのみでは、地区全体の内水排除は十分ではないため、仮設排水ポンプを設置し、流出流量の分散及びポンプ能力の向上を図る必要がある。	令和5年度から仮設排水ポンプ1基を設置している。(設置期間:6月～10月) 令和7年度も仮設排水ポンプ1基を設置。

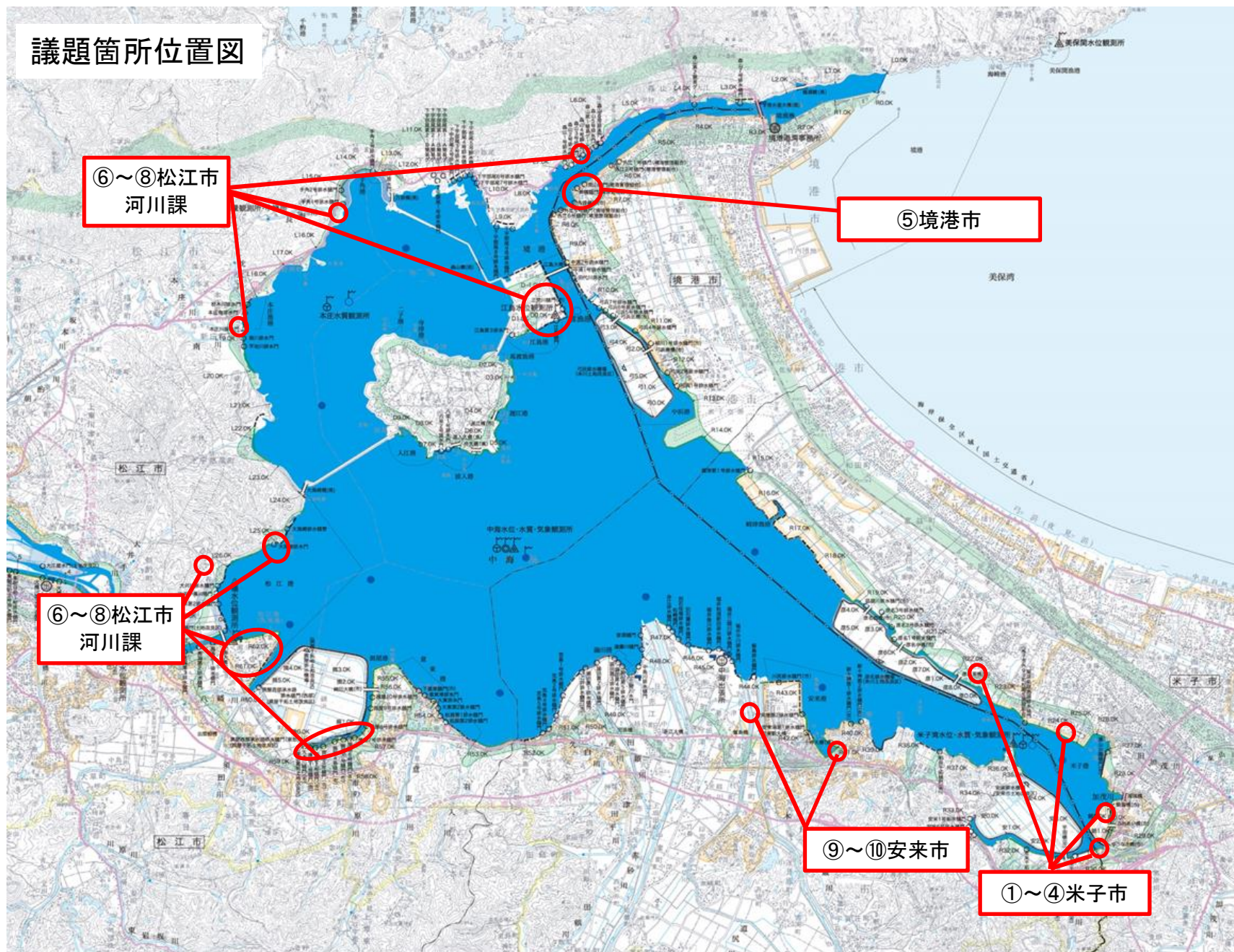
県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和7年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
5	境港市 建設部 (管理課)	1. 計画事業 外江地区内水対策事業 2. 計画年次 平成21年度～ 3. 計画箇所 境港市 外江地区 4. 取り組み概要 『外江地区』は、家屋が連担する住宅密集地であります。護岸背後の地盤が低いために高潮時には、内水等による浸水被害をたびたび受けてきました。以前の高潮時の内水対策は、護岸背後地の排水路河口に設置されている集水柵に、移動式の水中ポンプ(仮設ポンプ)を設置して内水を排除してきましたが、これらの方法では、人員確保や稼働までに時間を要する等の問題点があったことから、これまでの問題点を解消するため固定式の内水排除ポンプ施設の整備を行い、内水対策に取り組んでいるところである。 今後は、公共下水道事業にあわせ、高潮等の外水位上昇と計画降雨の内水に対応した、雨水ポンプ場等の整備を行っていくことにしている。	外江地区の内水対策については、固定式の内水排除ポンプ施設の設置により、これまでの高潮時の排水には対応できているが、高潮と降雨が重なった時は、ポンプの容量が不足するため、移動式ポンプ(仮設ポンプ)の設置も必要となっていることから、今後の整備としては、公共下水道事業にあわせ、計画降雨に対応する雨水ポンプ場等の早期整備が必要となっている。 また、斐伊川水系河川整備計画において、境水道の外江地区などについては、市の内水対策が明らかになった時点で調整を図り、必要な堤防等の整備を行うとされていることから、本市が行う内水対策整備と国が行う堤防整備が一体的に進捗していくよう、十分に調整を図りながら、計画的に進めていくことが必要。	・令和2年度:外江地区の公共下水道の事業認可拡大を行うとともに、令和2年度に策定された「斐伊川水系流域治水プロジェクト」に、外江地区(外渡雨水幹線と外江中央雨水幹線)の雨水ポンプ場整備を位置付ける ・令和3年度:「斐伊川水系流域治水プロジェクト」に、外江地区の雨水管渠整備(外渡・外江中央・矢尻川排水区)、雨水ポンプ場整備(矢尻川雨水幹線)を新たに位置付ける。 ・令和4年度:矢尻川雨水幹線基本設計、矢尻川雨水幹線流出解析 ・令和5～7年度:外江中央雨水幹線の上流部の未整備箇所の整備 ・令和6年度:矢尻川雨水幹線詳細設計 ・令和7～10年度:矢尻川雨水幹線築造工事の整備
6	松江市 (河川課)	1. 計画事業 河川管理施設操作省力化事業 2. 計画年次 令和5年度～令和15年度 3. 計画箇所 中海に流出している雨水渠、普通河川の排水樋門 4. 取り組み概要 中海に面している市管理の排水樋門について、操作の省力化を図るため、フラップゲート化、遠隔操作化、自動開閉化などの整備を進めるもの。	財源確保(緊急自然災害防止対策事業費[起債事業]として予算確保しているが、この起債はR7年度までとなっているため)	緊急自然災害防止対策事業費の期間延長を要望
7	松江市 (河川課)	1. 計画事業 河川排水路緊急浚渫事業 2. 計画年次 令和2年度～令和11年度 3. 計画箇所 中海に流出している雨水渠、普通河川の浚渫事業 4. 取り組み概要 中海に流出している下水道雨水渠、普通河川の浚渫	財源確保(普通河川においては、緊急浚渫推進事業費[起債事業]が期間延長され円滑に財源確保できているが、雨水渠は起債適用外のため、雨水渠の浚渫事業費の確保が困難な状況)	雨水渠の浚渫について、有利な財源がないか調査中

県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和7年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
8	松江市 (河川課)	1. 計画事業 河川排水路改良事業 2. 計画年次 令和5年度～令和13年度 3. 計画箇所 松江市大海崎町 4. 取り組み概要 中海に流出している普通河川柳谷川の河川改修 全体計画延長 265.0m	既設石積護岸に老朽箇所が散見されるため、道路や民有地に影響をおよぼさないよう注視しながら改修計画を立てる必要がある	既設護岸の状況により、改修の必要性が高い箇所から優先的に整備を実施する
9	安来市 建設部 (土木建設課)	1. 計画事業 東飯島地区内水対策事業 2. 計画年次 令和3年度～令和7年度 3. 計画箇所 安来市 東飯島地区 4. 取り組み概要 1) 中海の潮位上昇による逆流防止のためフラップゲート設置。 2) 豪雨時の対策として仮設ポンプ設置。 3) 豪雨により浸水被害を受けたエリアの排水路調査及び対策を検討。 4) 排水ポンプ場等設備設置 R3 フラップゲート設置 R4 フラップゲート設置、仮設ポンプ設置、調査設計 R5 用地買収、物件移転補償 R6 仮設ポンプ設置、ポンプ場工事、排水管工事 R7 ポンプ場工事、ポンプ設置		
10	安来市 上下水道部 (下水道課)	1. 計画事業 下水道雨水排水整備事業 浦ヶ部排水区 2. 計画年次 平成28年度～令和7年度 3. 計画箇所 安来市 和田南地区 4. 取り組み概要 1) 浦ヶ部排水区の和田南地区において雨水渠幹線整備を図る。 2) 和田南地区及び国道9号線横断部・JR横断部を整備し下流部の既設雨水渠幹線に接続する。 H28～H29 調査設計 H30～R4 JR横断工事をJR西日本との協定により実施 R4～R5 国道9号線横断工事 H30～R6 和田南地区雨水渠幹線整備 R7 付帯工事		

議題箇所位置図

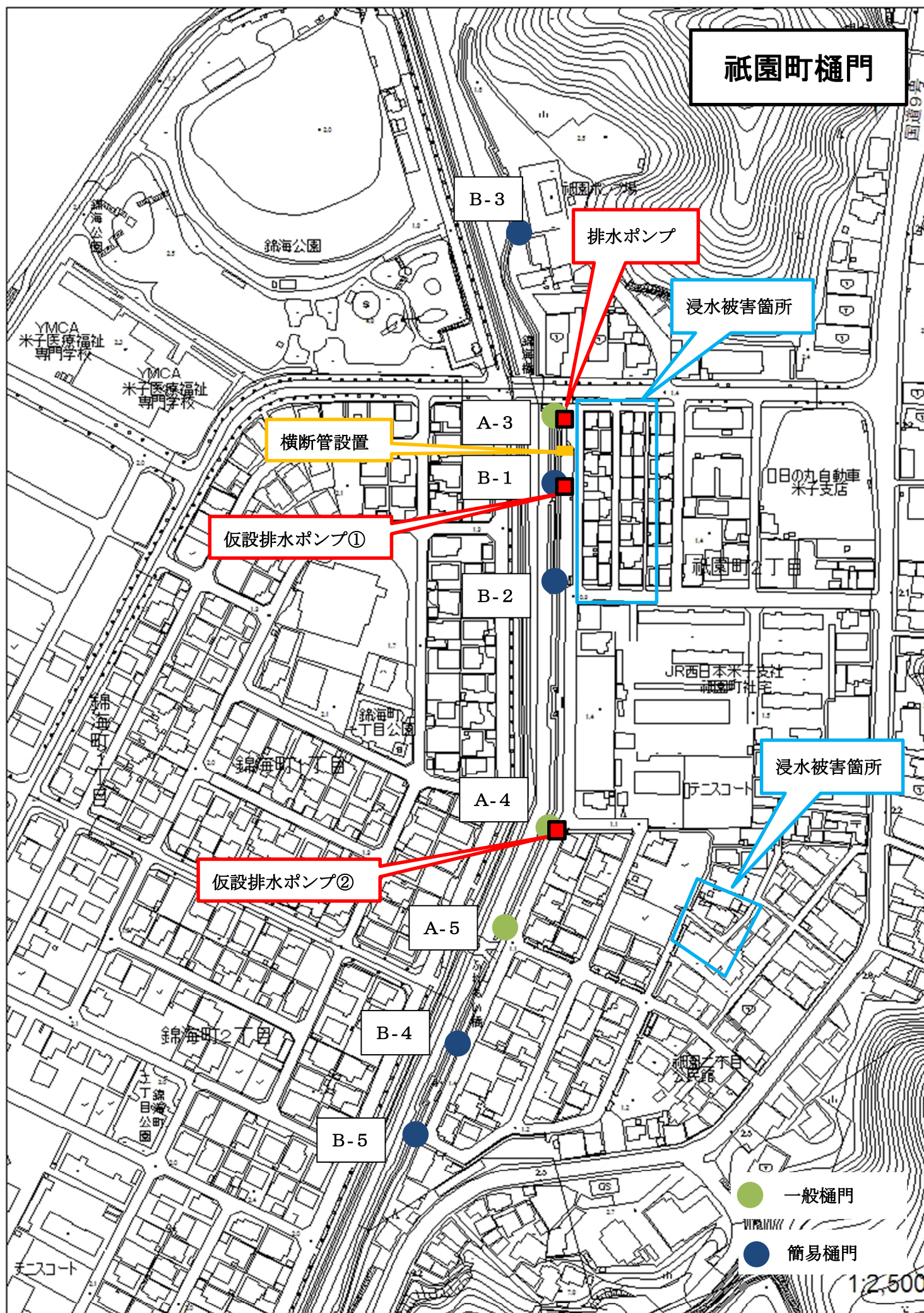


(別 表)

中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(米子市都市整備部道路整備課)

○内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	祇園町地区内水排除計画
2. 計画年次	平成15年度～
3. 計画箇所（エリア）	米子市祇園町地区 (別途図面、写真を添付)
4. 取り組みの概要	高潮と降雨の同時発生により浸水被害が発生しており、平成15年度から平成16年度に貯水槽（鉄筋コンクリート構造）$V=107.7\text{ m}^3$ 1基及び自動運転排水ポンプ11 kW $5.0\text{ m}^3/\text{min}$ 1基を鳥取県が設置し、平成23年度より米子市が引き継いでいる。
○取り組みに対する課題等	
現在設置されている自動運転排水ポンプのみでは、地区全体の内水排除は十分ではないため、毎年雨季の前に仮設排水ポンプ2基を設置し、併用して対応している。 中海湖心が1.0 mを超えた際（令和2年9月3日、4日の高潮）、護岸より漏水が認められたため、補修が必要である。	
○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）	
平成22年度に、鳥取県が設置して市が樋門管理委託を受託している別添図面のうちB-3を除いた樋門について、鳥取県において漏水を防ぎ水密性を高める工事を行った。 平成23年度、道路横断管の設置工事を実施するとともに、仮設排水ポンプを1基を設置した。（B-1） 平成24年度から、ポンプ2基を設置している。（B-1、A-4） 令和3年度から、鳥取県により樋門電動化の工事が行われている。（工事済B-1、B-2、B-5、A-4、A-5） 令和4年度（工事済A-3、B-4） 令和7年度も、仮設排水ポンプを2基設置。（設置期間：6月～10月）	



【写真】

○排水ポンプ（承水路側から見て）



○排水ポンプ（道路側から見て）



○仮設排水ポンプ①（承水路側より）



○仮設排水ポンプ①（道路側より）



○仮設排水ポンプ②（承水路側より）



○仮設排水ポンプ②（道路側より）



○横断管設置



○横断管設置（詳細）



○護岸漏水状況（高潮時）



○護岸漏水状況 近景



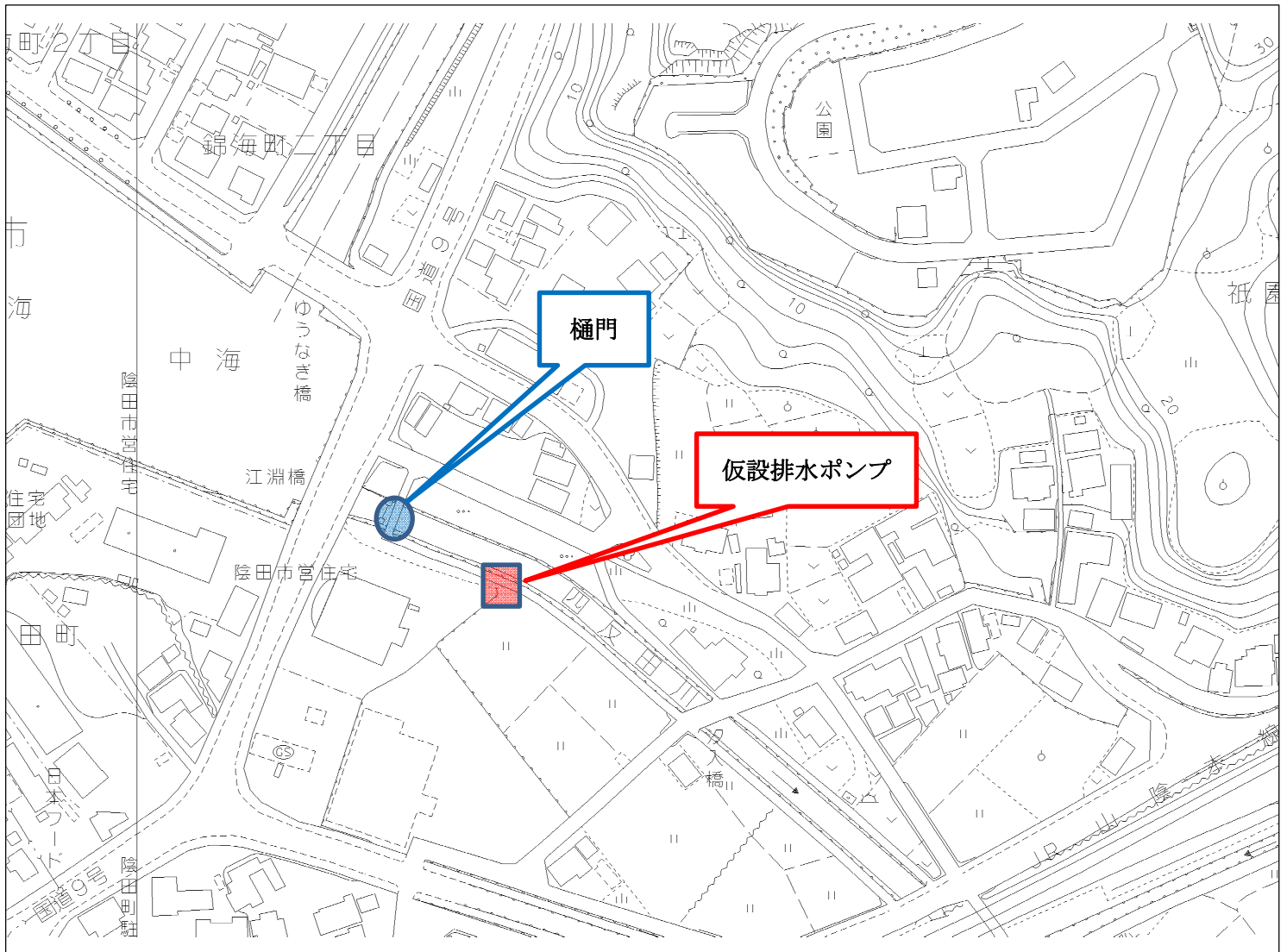
(別 表)

中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(米子市都市整備部道路整備課)

○内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	準用河川四反田川樋門設置事業
2. 計画年次	平成10年度～
3. 計画箇所（エリア）	米子市陰田町地区 (別途図面、写真を添付)
4. 取り組みの概要	中海の潮位上昇に伴う準用河川四反田川からの逆流防止のため仮設排水ポンプ設置を行った。
○取り組みに対する課題等	
内水排除対策に必要な資器材の調達および設置。	
○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）	
平成24年度から、仮設排水ポンプを1基設置している。	
令和7年度も、仮設排水ポンプ1基を設置。(設置期間：6月～10月)	

四反田川樋門



○樋門（下流から見て）



○仮設排水ポンプ



(別 表)

中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(米子市都市整備部道路整備課)

○内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	彦名町地区内水排除計画
2. 計画年次	平成28年度～
3. 計画箇所（エリア）	米子市彦名町地区 (別途図面、写真を添付)
4. 取り組みの概要	中海の潮位上昇に伴って樋門を閉めたことによる内水が原因で浸水被害が発生しており、内水排除のため仮設排水ポンプを設置している。
○取り組みに対する課題等	
内水排除対策に必要な資器材の調達および設置。	
○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）	
平成28年度から仮設排水ポンプ2基を設置している。	
令和3年度に、鳥取県により仮設排水ポンプ①の樋門が補修された。	
令和7年度も、仮設排水ポンプ2基を設置。(設置期間：6月～10月)	
また、仮設ポンプに替わる常設の排水ポンプ設置も今後検討していく。	
(令和7年度設計委託発注予定)	

彦名町樋門

米子中海病院
老人保険施設
あわしま

栗嶋神社

静の岩屋
八百姫宮

彦名町二区公民館

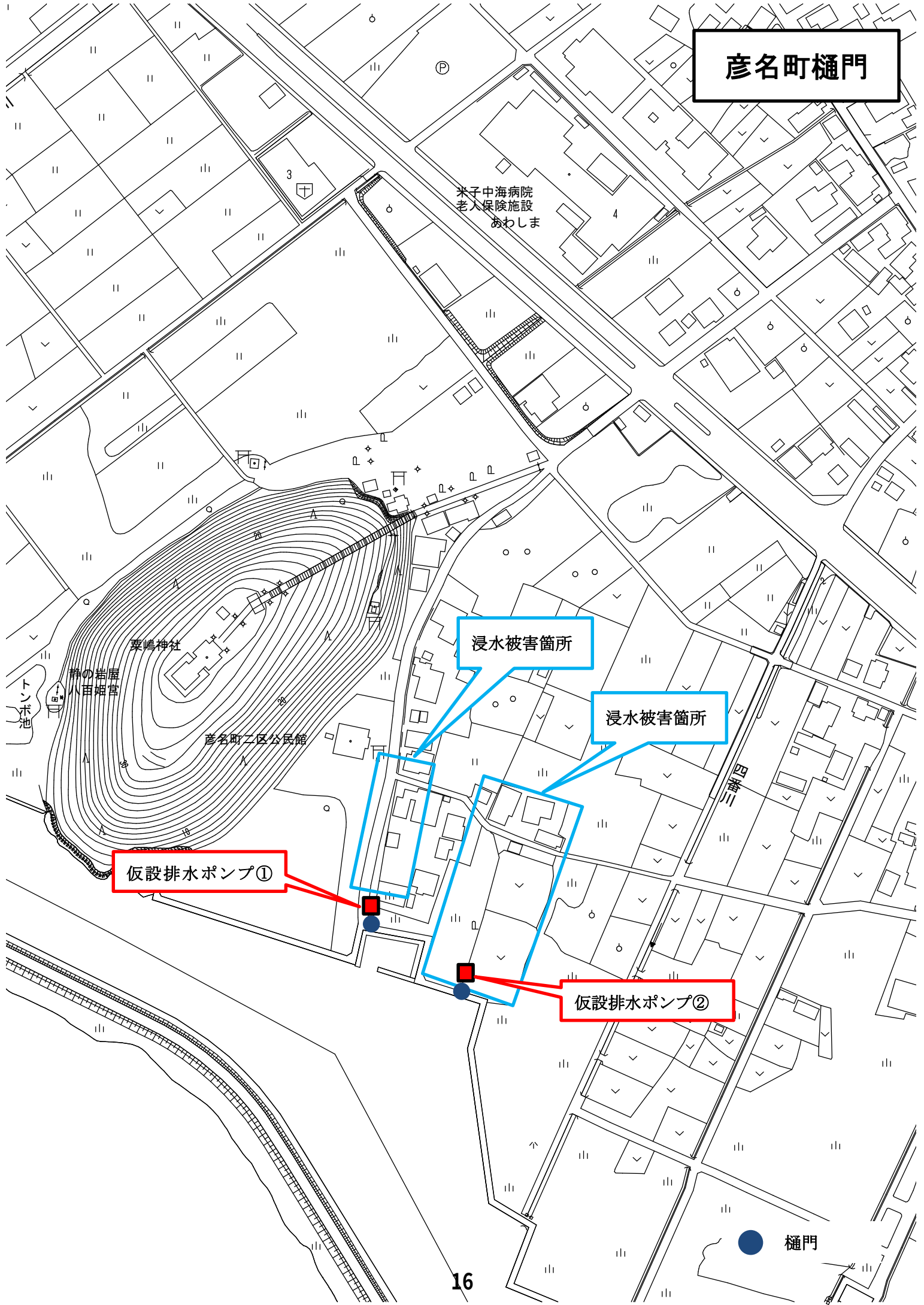
浸水被害箇所

浸水被害箇所

仮設排水ポンプ①

仮設排水ポンプ②

樋門



【写真】

○仮設排水ポンプ設置状況（中海側から見て）



○仮設排水ポンプ設置状況（道路側から見て）



○樋門・仮設排水ポンプ①（中海側より）



○樋門・仮設排水ポンプ①（道路側より）



○仮設排水ポンプ②（中海側より）



○仮設排水ポンプ②（中海側より）



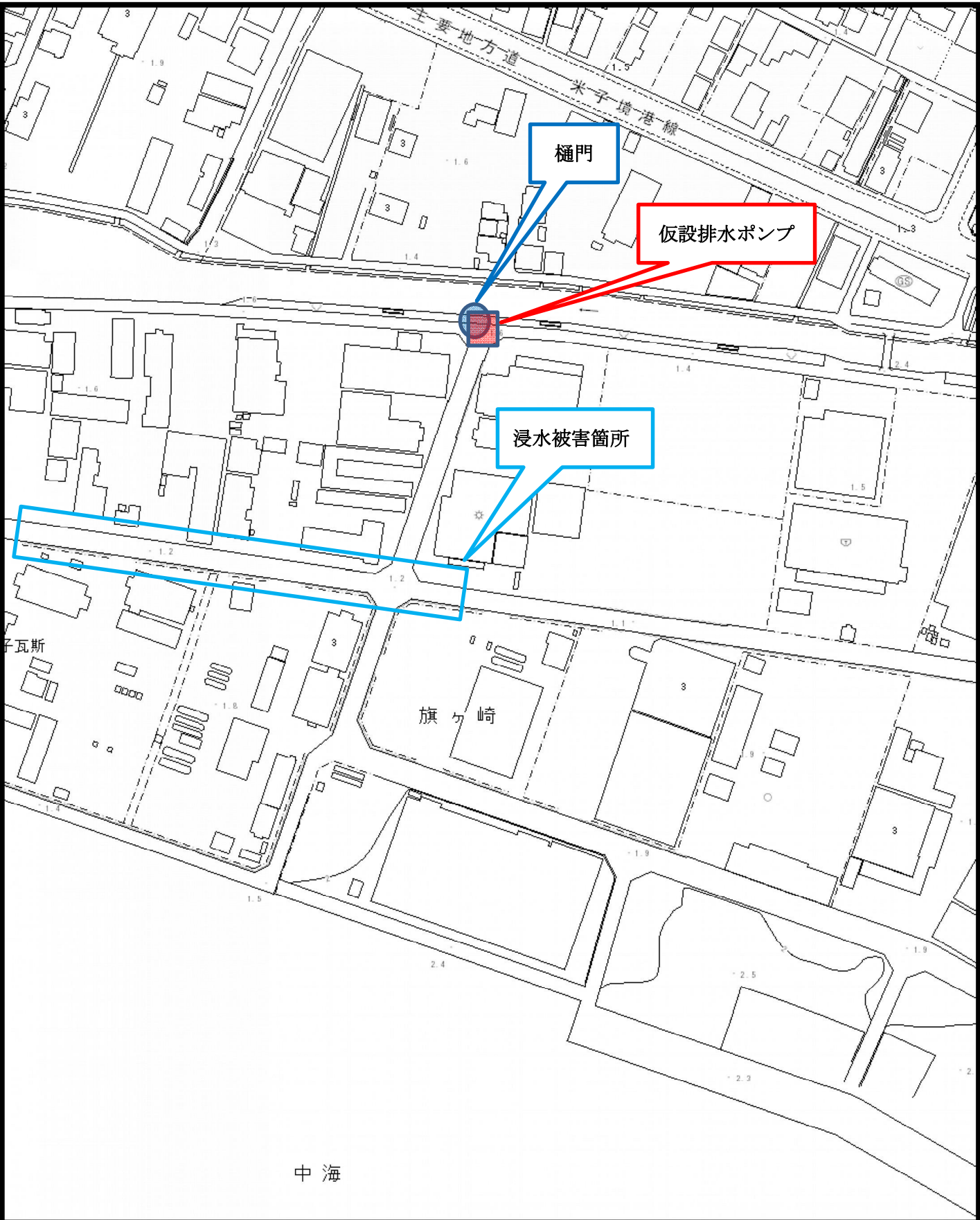
(別 表)

中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(米子市都市整備部道路整備課)

○内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	旗ヶ崎食品団地内水排除計画
2. 計画年次	令和5年度～
3. 計画箇所（エリア）	米子市旗ヶ崎地区 (別途図面、写真を添付)
4. 取り組みの概要	中海の潮位上昇に伴って樋門を閉めたことによる内水が原因で浸水被害が発生しており内水排除のため、仮設ポンプを設置している。
○取り組みに対する課題等	
現在設置されている自動運転排水ポンプのみでは、地区全体の内水排除は十分ではないため、仮設排水ポンプを設置し、流出流量の分散及びポンプ能力の向上を図る必要がある。	
○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）	
令和5年度から仮設排水ポンプ1基設置している。	
令和7年度も仮設排水ポンプ1基設置。(設置期間：6月～10月)	

旗ヶ崎食品団地樋門



【写真】

○排水ポンプ



中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(境港市建設部管理課) NO.1

○内水対策の取り組み状況

1 計画事業名 外江地区内水対策事業

2 計画年次 平成21年度～

3 計画箇所 境港市 外江地区

4 取り組みの概要

『外江地区』は、家屋が連担する住宅密集地ですが、護岸背後の地盤が低いために高潮時には、内水等による浸水被害をたびたび受けてきました。以前の高潮時の内水対策は、護岸背後地の排水路河口に設置されている集水桝に、移動式の水中ポンプ(仮設ポンプ)を設置して内水を排除してきましたが、これらの方法では、人員確保や稼働までに時間を要する等の問題点があったことから、これまでの問題点を解消するため固定式の内水排除ポンプ施設の整備を行い、内水対策に取り組んでいるところである。

今後は、公共下水道事業にあわせ、高潮等の外水位上昇と計画降雨の内水に対応した、雨水ポンプ場等の整備を行っていくことにしている。

○取り組みに対する課題等

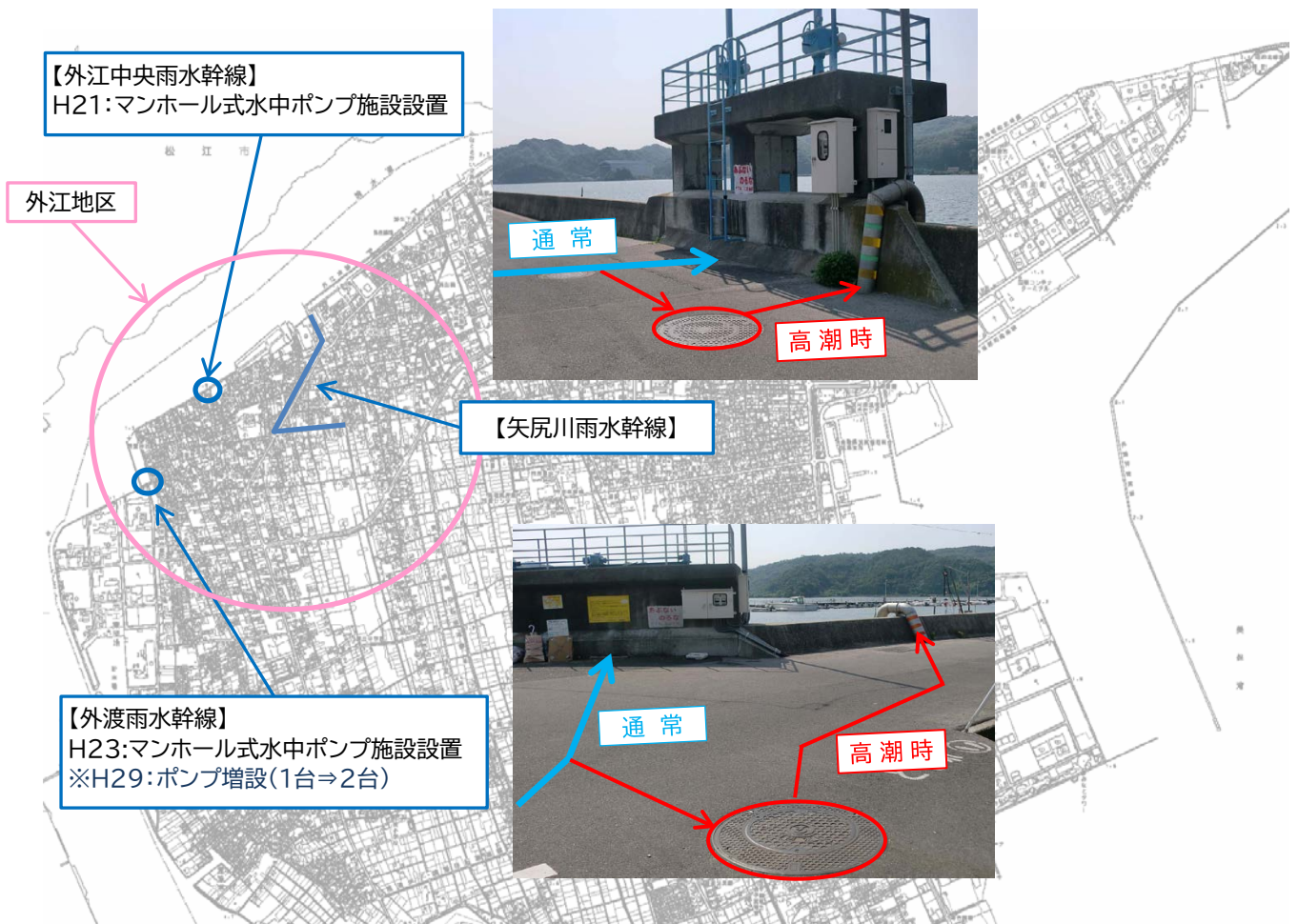
外江地区の内水対策については、固定式の内水排除ポンプ施設の設置により、これまでの高潮時の排水には対応できているが、高潮と降雨が重なった時は、ポンプの容量が不足するため、移動式ポンプ(仮設ポンプ)の設置も必要となっていることから、今後の整備としては、公共下水道事業の計画降雨に対応する雨水ポンプ場等の整備が必要となっている。

また、斐伊川水系河川整備計画において、境水道の外江地区などについては、市内の内水対策が明らかになった時点で調整を図り、必要な堤防等の整備を行うとされていることから、本市が行う内水対策整備と国が行う堤防整備が一体的に進捗していくよう、十分に調整を図りながら、計画的に進めていくことが必要。

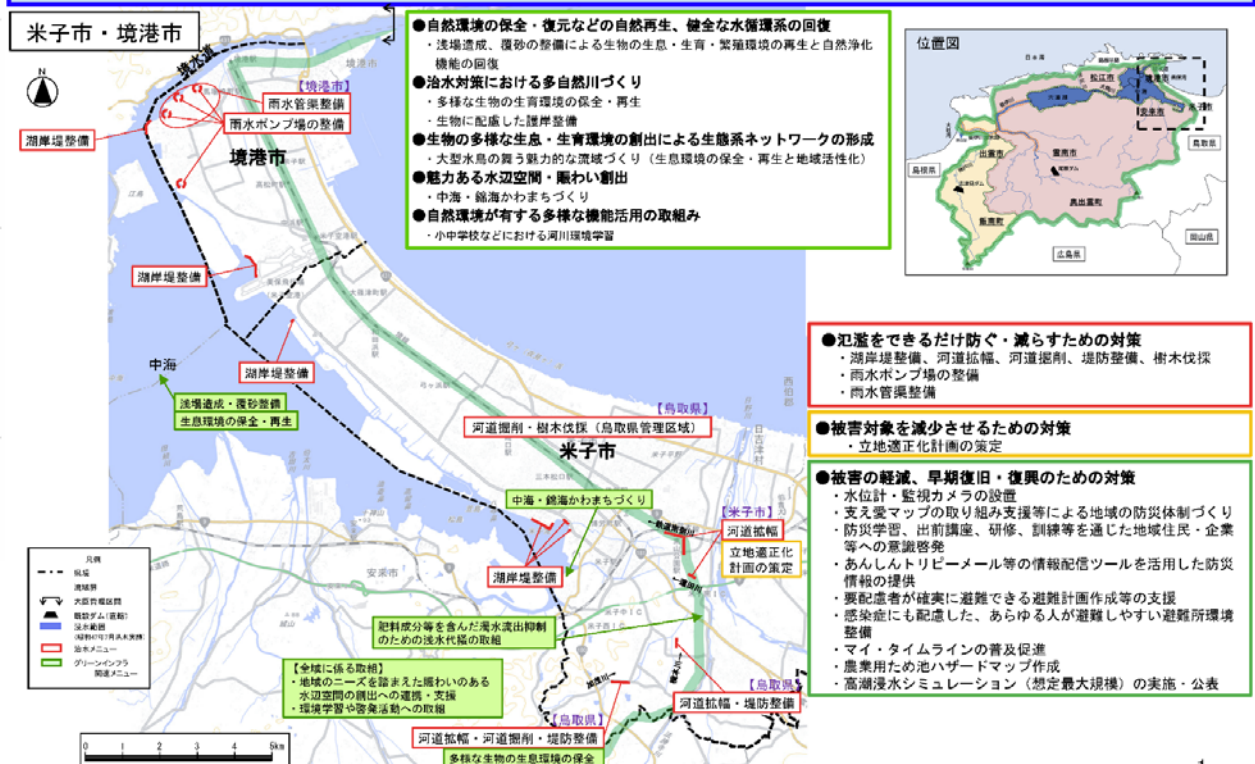
○課題等に対する検討・対応状況(取り組みの進捗状況)

- ・令和2年度:外江地区の公共下水道の事業認可拡大を行うとともに、令和2年度に策定された「斐伊川水系流域治水プロジェクト」に、外江地区(外渡雨水幹線と外江中央雨水幹線)の雨水ポンプ場整備を位置付ける
- ・令和3年度:「斐伊川水系流域治水プロジェクト」に、外江地区の雨水管渠整備(外渡・外江中央・矢尻川排水区)、雨水ポンプ場整備(矢尻川雨水幹線)を新たに位置付ける。
- ・令和4年度:矢尻川雨水幹線基本設計、矢尻川雨水幹線流出解析
- ・令和5～7年度:外江中央雨水幹線の上流部の未整備箇所の整備
- ・令和6年度:矢尻川雨水幹線詳細設計
- ・令和7～10年度:矢尻川雨水幹線築造工事の整備

《外江地区内水対策事業》



斐伊川水系流域治水プロジェクト【分割図】 (1 / 7)



中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(松江市 河川課)

○ 内水対策の取り組み状況

- | | |
|--------------|---|
| 1. 計 画 事 業 名 | 河川管理施設操作省力化事業 |
| 2. 計 画 年 次 | 令和5年 ～ 令和15年 |
| 3. 計画箇所（エリア） | 中海に流出している雨水渠、普通河川の排水樋門
(添付図参照) |
| 4. 取り組みの概要等 | 中海に面している市管理の排水樋門について、操作の
省力化を図るため、フラップゲート化、遠隔操作化、
自動開閉化などの整備を進めるもの。 |

○ 取り組みに対する課題等

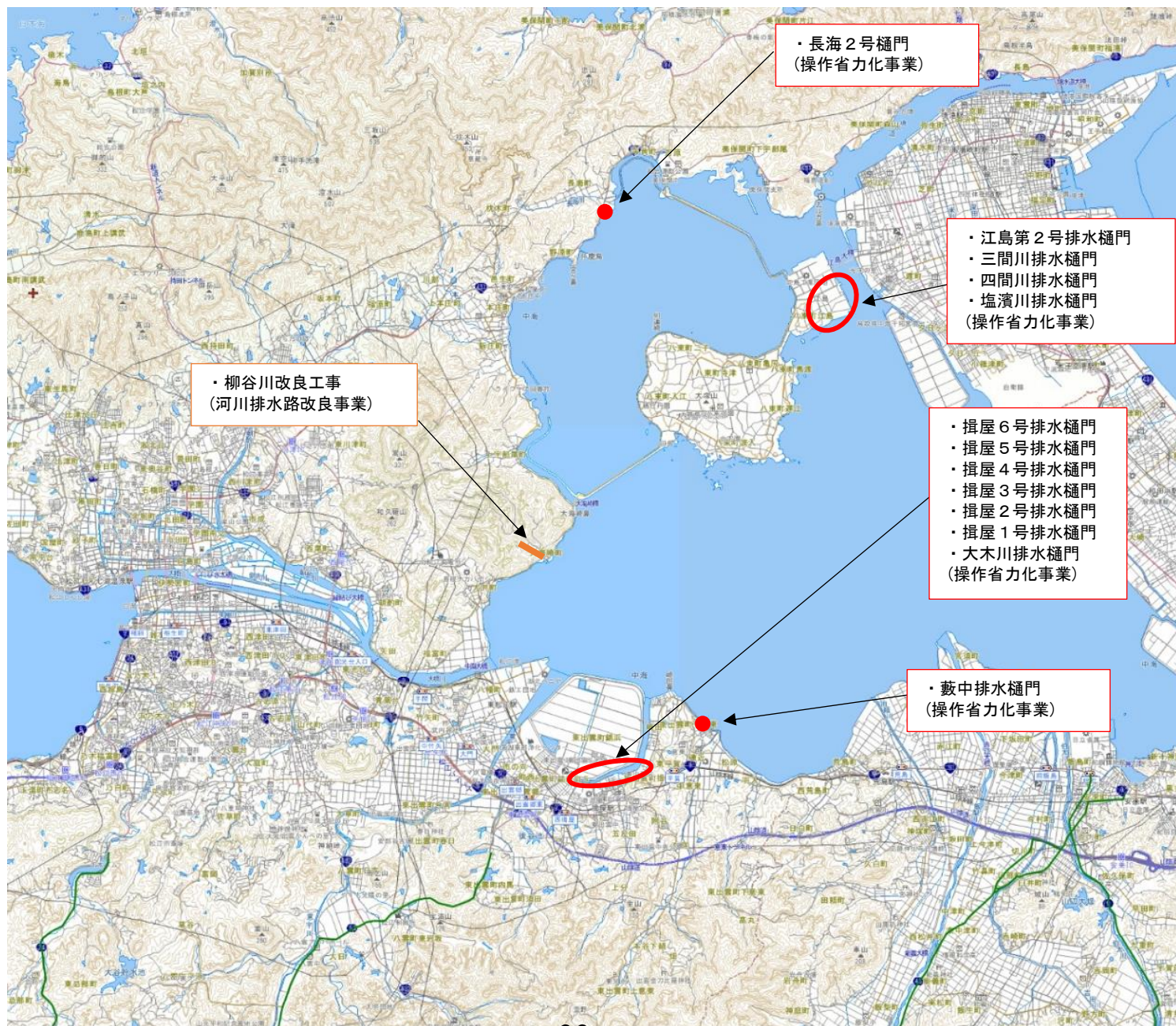
- ・ 財源確保（緊急自然災害防止対策事業費[起債事業]として予算確保しているが、この起債はR7年度までとなっているため）

○ 課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況等）

- ・ 緊急自然災害防止対策事業費の期間延長を要望

○内水対策の取り組み状況（松江市）

- ・河川管理施設操作省力化事業、・河川排水路改良事業



中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(松江市 河川課)

○ 内水対策の取り組み状況

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| 1. 計画事業名 | 河川排水路緊急浚渫事業 |
| 2. 計画年次 | 令和2年 ～ 令和11年 |
| 3. 計画箇所（エリア） | 中海に流出している雨水渠・普通河川の浚渫事業
(添付図参照) |
| 4. 取り組みの概要等 | 中海に流出している下水道雨水渠、普通河川の浚渫 |

○ 取り組みに対する課題等

- ・財源確保（普通河川においては、緊急浚渫推進事業費[起債事業]が期間延長され円滑に財源確保できているが、雨水渠は起債適用外のため、雨水渠の浚渫事業費の確保が困難な状況）

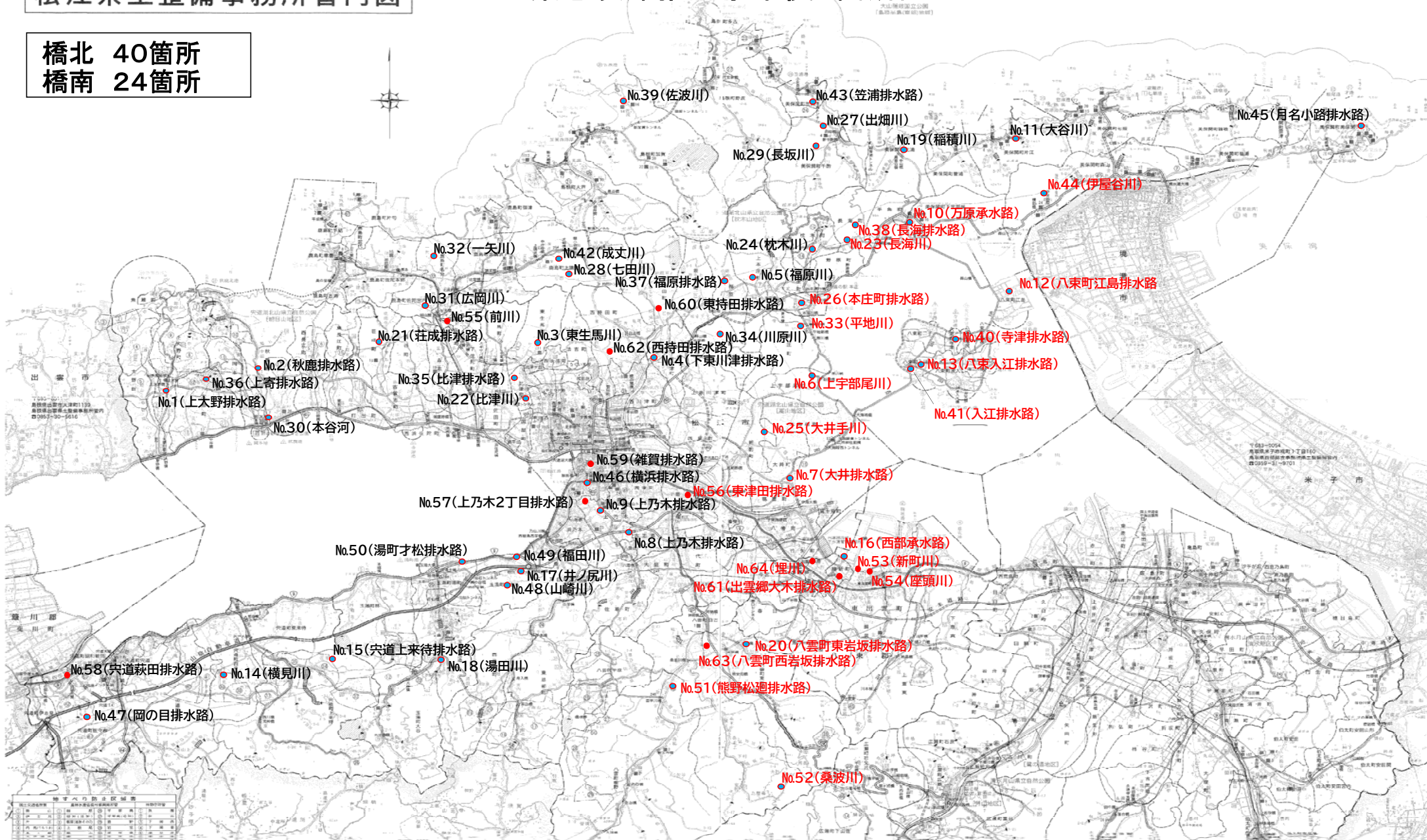
○ 課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況等）

雨水渠の浚渫について、有利な財源がないか調査中

松江県土整備事務所管内図

緊急浚渫推進事業債 箇所図

橋北 40箇所
橋南 24箇所



中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(松江市 河川課)

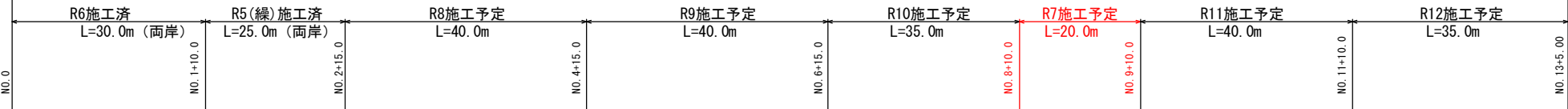
○ 内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	河川排水路改良事業
2. 計画年次	令和5年 ～ 令和13年
3. 計画箇所（エリア）	松江市大海崎町 (添付図参照)
4. 取り組みの概要等	中海に流出している普通河川柳谷川の河川改修 全体計画延長 265.0m
○ 取り組みに対する課題等	
・既設石積護岸に老朽箇所が散見されるため、道路や民有地に影響をおよぼさないよう注視しながら改修計画を立てる必要がある	
○ 課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況等）	
・既設護岸の状況により、改修の必要性が高い箇所から優先的に整備を実施する	

柳谷川河川改修工事 計画平面図

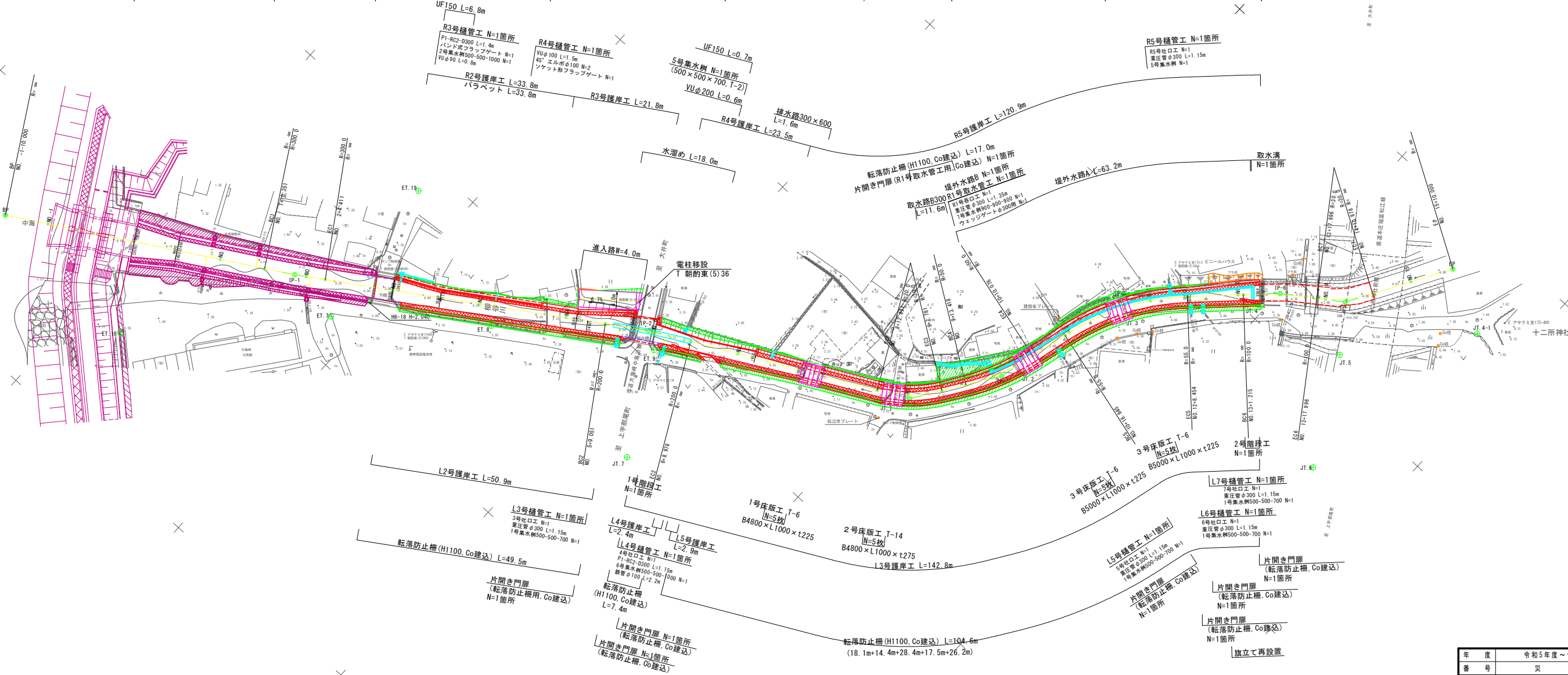
松江市

大海崎町

全体計画延長 L=265.0m



R13施工予定
上流側調節池整備



年度	令和5年度～令和12年度
番号	災 号
工事名	柳谷川河川改修工事
道川港名	柳谷川
施工箇所	松江市大海崎町 地内
図面名称	計画平面図
縮尺	S=1:500
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
業の内	

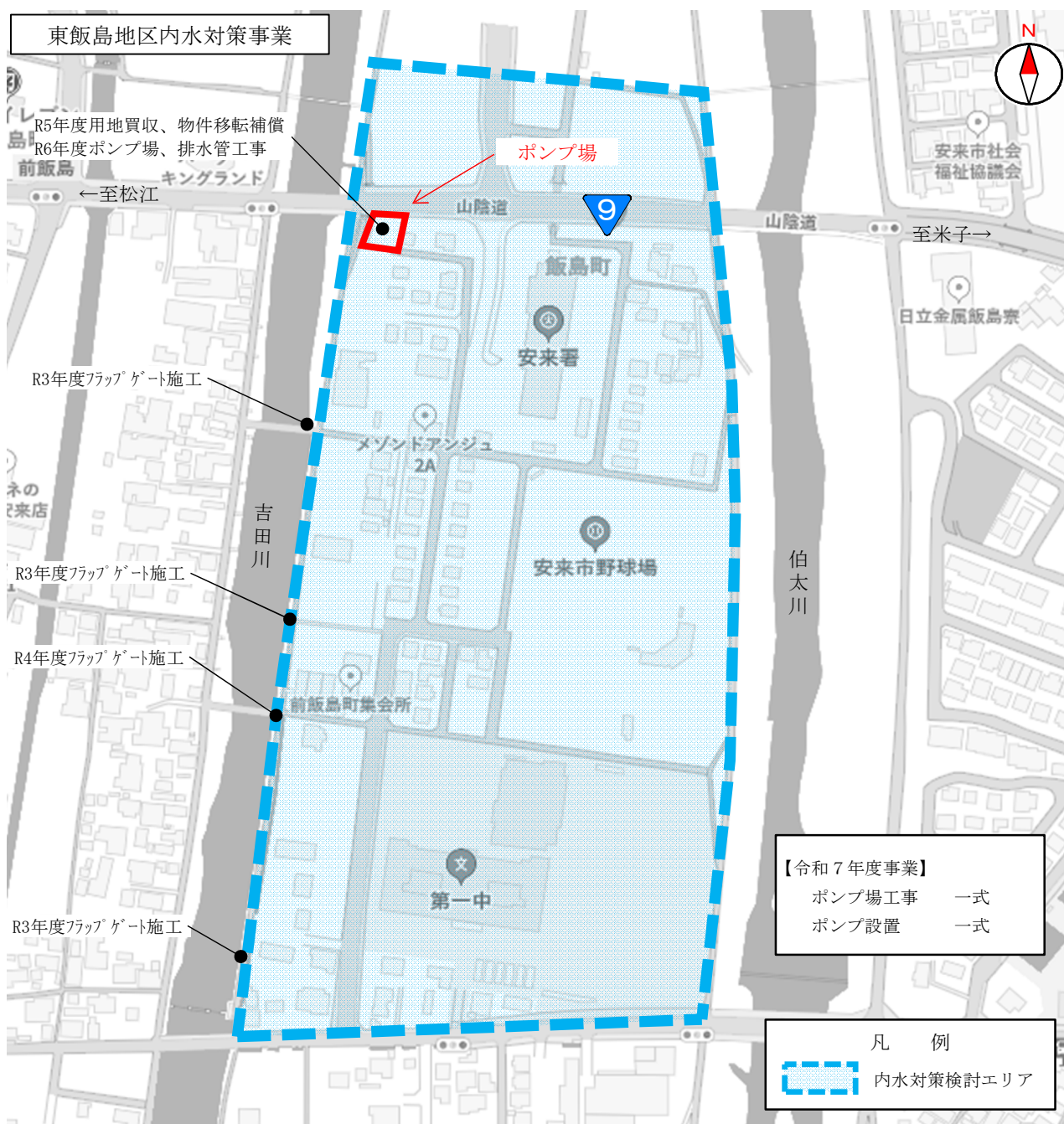
(別 表)

中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(安来市 建設部 土木建設課)

○ 内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	東飯島地区内水対策事業
2. 計画年次	令和3年度 ～ 令和7年度
3. 計画箇所	安来市 東飯島地区 (別添位置図を参照)
4. 取り組みの概要	1) 中海の潮位上昇による逆流防止のためフラップゲート設置。 2) 豪雨時の対策として仮設ポンプ設置。 3) 豪雨により浸水被害を受けたエリアの排水路調査及び対策を検討。 4) 排水ポンプ場等設備設置。 - R3 フラップゲート設置 - R4 フラップゲート設置、仮設ポンプ設置、調査設計 - R5 用地買収、物件移転補償 - R6 仮設ポンプ設置、ポンプ場工事、排水管工事 - R7 ポンプ場工事、ポンプ設置
○ 取り組みに対する課題等	
○ 課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況等)	

東飯島地区内水対策事業 位置図



(別 表)

中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(安来市 上下水道部 下水道課)

○ 内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	下水道雨水排水整備事業 浦ヶ部排水区
2. 計画年次	平成28年度 ～ 令和7年度
3. 計画箇所	安来市 和田南地区 (別添位置図を参照)
4. 取り組みの概要	1) 浦ヶ部排水区の和田南地区において雨水渠幹線整備を図る。 2) 和田南地区及び国道9号線横断部・JR横断部を整備し下流部の既設雨水渠幹線に接続する。 H28～H29 調査設計 H30～R4 JR横断工事をJR西日本との協定により実施 R4～R5 国道9号線横断工事 H30～R6 和田南地区雨水渠幹線整備 R7 付帯工事
○ 取り組みに対する課題等	
○ 課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況等)	

